国際ロータリー第 2620 地区　甲府北 ロータリークラブ
2024-2025 年度　2674 回例会 3 月 26 日
地区ガバナー 小 泉 久 司　　クラブ会長 深 沢 成 彦

●本日のプログラム 創立 57 周年記念例会

●幹事報告

1. 次週 4 月 2 日（水）はお花見例会で、甲府駅北口よっちゃばれ広場「藤村記念館」あたりに 18 時集合です。お間違えのないようお願いいたします。お花見後場所を変え懇親会を開催します。
2. 3 月 22 日（土）PELS が伊東で開催され、中川会員・鈴木会員・土橋会員が出席しました。
3. 本日も「令和 7 年大船渡 大規模山林火災支援金」の募金箱を回しますので、ぜひご協力をお願いいたします。
4. 先週の例会で幹事報告しましたが、甲府市内 8 RC 合同親睦ゴルフコンペが、5 月 18 日（日）境川カントリー倶楽部で開催されます。参加ご希望の方は事務局までお申し出願います。
5. ゴルフのご案内が続きますが、4 月 22 日（火）伊東ロータリークラブ主催「川奈ホテル富士コースゴルフコンペ」開催のお知らせが届いています。案内を回覧しますが、定員になり次第締め切りとのことですので、ご興味のある方はお早めに事務局までお願いします
6. RLI パート 3 が、5 月 11 日（日）オンラインで開催されます。ご参加をよろしくお願いいたします。
7. 深沢春樹会員が RLI 全パート受講し修了されました。

●2673 回例会（3/19）ニコニコボックス紹介　　♡大口　　◇トリプル　　◎ダブル

河野　見学会楽しみにしておりましたが、急用が出来、欠席させて頂きます。
近藤　本日は見学会が中止になり残念でした。堀内さんいろいろとご準備いただきありがとうございました。
堀内　見学会中止になりましたが、画像でご紹介させていただきます。今後ともよろしくお願いします。

●2673 回例会（3/19）例会報告　堀内会員宅話

1. 工事の概要

下曽根橋・隠池橋
ガス管添架工事

東京ガス山梨
JFE エンジニアリング株式会社

◆工事目的　甲府市下曽根町方面の工場に中圧都市ガスを供給するため笛吹川に架かる下曽根橋並びに濁川に架かる穏池橋にガス管を添架するものです

◆下曽根橋：橋長206.0m　橋梁構造：5径間単純PC・T桁橋　◆隠池橋：橋長135.7m　橋梁構造：2径間連続鋼箱桁橋

◇笛吹川：富士川水系の1級河川、川の音が「笛吹権三郎」の吹く篠笛の音のように聞こえることから笛吹川と呼ばれるようになった

◇濁川：笛吹川支流の1級河川、以前は生活排水等が流されておりこのように呼ばれた。大幅に改善されたが県内河川で水質汚濁ワースト

◆工事場所　国道358号線：甲府市西下条字島嵜1447（右岸）～ 下曽根町字一丁田3933（左岸）

◆工事数量

下曽根橋添架	ガス管150A×212.8m	可動サポート61基　固定サポート1基
隠池橋添架	ガス管150A×146.5m	可動サポート24基
河川区域埋設	ガス管150A×50.6m	鞘管300A×50.6m
保全区域埋設	ガス管150A×50.3m	鞘管300A×34. 4m

◆工事工程　2021年11月1日 ～ 2022年5月31日（渇水期施工）

◆材料仕様　直管　材質SGP/STPG370（Sch40）　塗装外面PH1/内面PR130
曲管　材質PT370（Sch40）/PT410（Sch80）　塗装内外面PR130

◆検査仕様　溶接部放射線透過試験　・ループ部全数検査　・一般部2%抜き取り検査
耐圧試験　圧力1.49Mpa以上/保持時間5分間以上
気密試験：圧力1.09Mpa以上/保持時間24時間以上

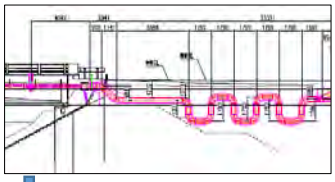
2. 工事の特色

ループ半減工法の採用

◇ループとは：温度変化による配管の熱伸縮変位を吸収するための配管機能

◇従来設計は：施工時温度を特定せずに設計温度幅±60℃（−10℃～＋50℃）の全域での施工を想定してループ構造を決定

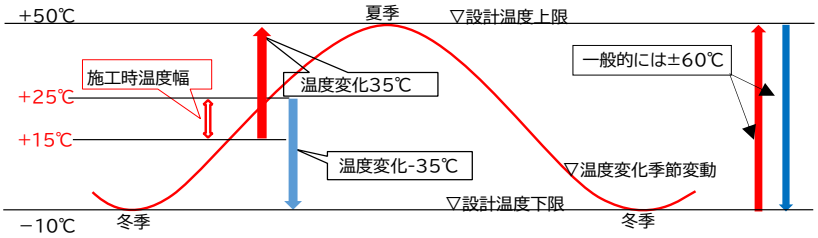
埋設部ループ例



架管部ループ例

架管部伸縮管例

◆ループ半減工法：設計温度幅の中央値付近温度（15～25℃）時に接続することでループ数を半分にできます



施工例（2022年3月開国橋）

ノーメンテナンス構造の採用

◆将来メンテナンスが不要なる構造を採用

◇サポート部　ロータス工法

◇ガス管外装材　NP保護工法

維持管理

◆ドローンによる点検を実施予定

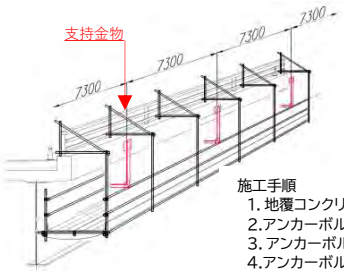
点検例（2024年5月開国橋）

3.工事の流れ

1.足場設置　1月～2月

施工方法：高所作業車（橋梁点検車）を使用して設置

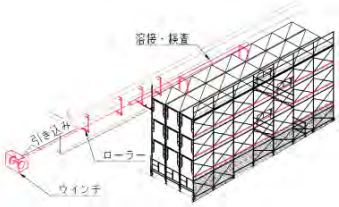
2.支持金物設置　2月



施工手順
1. 地覆コンクリート硬度測定
2. アンカーボルト埋込穴削孔
3. アンカーボルト埋込～養生
4. アンカーボルト引抜検査
5. 支持金物設置
6. Wナット締付検査

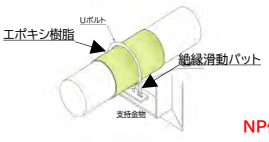
3.配　管　2月～3月

施工手順
1. 支持金物上に管移動用ローラーを設置
2. 引込用電動ウインチ等を所定位置に設置
3. ステージ上で直管を溶接、検査
4. 検査合格後所定位置まで引込む



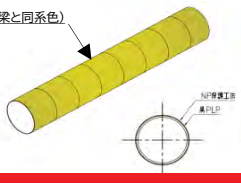
4. サポート設置・塗覆装 4月～5月

ロータス工法工法（特許取得済み）



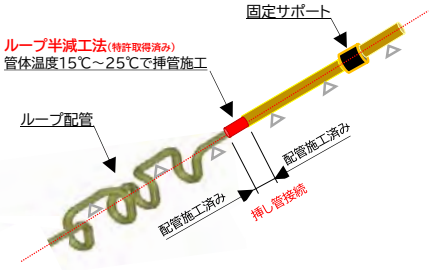
NP保護工法

硬化型テープ（塗装は橋梁と同系色）



5.挿し管　4月

◇挿管：前後の配管を短管で突合せ溶接して接続すること



6.耐圧気密試験　4月

7. 足場撤去　4月～5月